

アートディレクター/グラフィックデザイナー

矢野 宏のクリエイティブツールに迫る

Intuos4が プロに選ばれる理由

リアルな筆圧表現と直感的な操作性で多くのクリエイターから支持されているペンタブレット「Intuos4」。ここでは、デザインワークをはじめとするさまざまな場面でIntuos4を活用しているアートディレクターの矢野 宏さんにお話をうかがった。

●取材・文：仲町六朗 ●写真：井上直哉



桑田佳祐やWaTのCDジャケットデザインをはじめ、広告やファッションカタログ制作など、幅広く活躍しているアートディレクターの矢野 宏さん。PhotoshopやIllustratorなどを使ってさまざまなデザイン制作を行う矢野さんが、Intuos4を使い始めたのは1年ほど前からだという。

「カメラマンさんのスタジオにお邪魔したときに、Intuosを使いながらPhotoshopで軽快にレタッチ作業をしているのを見て、興味を持ったんです。でも、デザインの仕事では、Illustratorやほかのアプリケーションも使いますよね。そうしたワークフローの中で、Intuosをどのように活用することができるのか、そのときはあまり想像できなかったんですよ」

Intuosに関心はあったが、マウスから切り替えるには至っていなかったという矢野さん。そんなとき、元同僚からIntuosをすすめられ、実際に使ってみることに。

「最初は、ペンタブレットの操作に少し違和感がありました。1週間くらい使い続けているうちに、自然と手になじんでいきました。Photoshopを使っ

て、写真のレタッチや切り抜き作業などを行っているのですが、指先の微妙なニュアンスがイメージどおりに反映されるので、とても助かっています。あと、エクスプレスパッドのタッチホイールを利用したブラシの拡大縮小もすごく便利です。おかげで、以前よりもスムーズに作業を進められるようになりました」

Illustratorを使った制作においても、Intuos4はいまや手放せないツールになっているという。

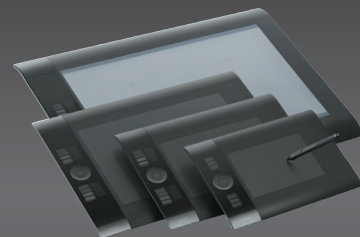
「マウスを使って、アナログ感のある手書き文字や、ゆるやかな曲線を描くのは難しく、いつも時間ばかりかかっていたんです。でも、Intuos4を使うようになってからは、紙に描くのとほぼ同じ感覚で思い通りのラインを描けるようになり、表現の幅が広がりました」

こうしたデザインワークだけでなく、日常的なMacのオペレーション作業もすべてIntuos4で行っているという矢野さん。クリエイターのデザイン表現と、制作作業を柔軟にバックアップする重要なツールとして、Intuos4は欠かせない存在になっているようだ。

INFORMATION

表現力に優れた高性能ペンタブレット

intuos.4



繊細なタッチを表現できる2,048レベルの筆圧感知と、軽く触れるだけで描画できる最小ON荷重1gを実現した高性能ペンタブレット「Intuos4」。ファンクションキーやタッチホイールを搭載した「エクスプレスパッド」は、直感的な操作でユーザーの好みに合わせたカスタマイズを行える。また、ワイヤレスで利用できる「Intuos4 Wireless」も発売されている。

問い合わせ先

株式会社ワコム url. intuos.jp/

WORKS



- 1 「君にサヨナラを」/ 桑田佳祐 CDジャケット/2009/ビクターエンタテインメント・タイムスレーベル
- 2 「Believe in Paradise」/MAGIC PARTY CDジャケット/2009/アミューズソフトエンタテインメント
- 3 「君が僕にKissをした」/WaT CDジャケット/2010/ユニバーサル シグマ
- 4 「今夜はMAGIC BOX」/MAGIC PARTY CDジャケット/2010/ポニーキャニオン

矢野 宏[やの・ひろし]

1978年東京生まれ。1999年、アートディレクター/フォトグラファーのモード・シナベル氏に師事。2001年、ビクターエンタテインメント・デザインセンターに入社。2008年、中川 優氏とともにN/Y inc. 設立。2010年独立。
url. www.hiroshi-yano.com/